チュンイー・シュー

JAPAN313 BC

Izumi Matsuda

April 18th

プロジェクトアウトライン

アニメ・声優ラジオの歴史と未来

* 第一段落(導入)
  + アニメ・ゲームなどの関連情報を取り扱うラジオ番組や、声優さんが担当されているラジオ番組などを総称し、アニラジと呼ばれている。
  + アニラジでは、一般的に二つの種類がある。アニメ・ゲーム・漫画・ライトノベルなどに関する情報番組と声優・アニソン歌手などがパーソナリティを務めるトーク番組。
  + アニラジの放送作家(構成作家)が色々なコーナーや企画を考えており、リスナーがそれぞれのコーナーに投稿して、パーソナリティと共にラジオを盛り上がる。
  + アニメの情報を得る同時に声優と話すことができるため、非常に人気がある。
* 第二段落(歴史)
  + 歴史を振り返ってみると、アニラジの始まりは第一次声優ブームの１９６０年代。当時の声優が海外作品(映画やドラマなど)の吹き替えをに活躍している。
  + アニラジが爆発的に増えたのは１９９０年代。視聴者が減っていくラジオ業界で、アニラジはアニメ好きな若者たちを対象にして、多くの声優が起用し、様々なラジオ局で積極的に放送されていた。
  + ２０００年代後、パソコンとインターネットが一般化し始めた。インターネットラジオ放送局が多くなり、数々のアニラジが地上波からネットで配信されるようになった。
  + 最近、『文化放送 超A&G』を始め、『音泉』や『HiBiki Radio Station』などアニラジ専用のネットラジオ放送局もできた。その上、『ニコニコ動画』や『USTREAM』など動画サイトにも、動画配信サービスを利用しての動画付きラジオ番組が増えていた。
* 第三段落(アニラジに関するイベントやグッズ)
  + アニラジの放送は主に収録放送のため、直接に交流する機会が少ない。それて、公開収録という形で、目の前にラジオをしている様子が見えるようになった。
  + ２０１５年、音泉、HiBiKi Radio Station、文化放送、アニメイトTV（第2回よりラジオ大阪も加わる）がアニラジアワード実行委員会を結成し、アニラジを部門別に表彰する「アニラジアワード」が設立された。(受賞番組などを紹介)
* 第四段落(結論)
  + とある調査によると、2016年のアニメ業界のエンドユーザー売上には約５％がアニラジ。
  + 科学技術の進化と共に、アニラジが進化する可能性も十分ある。AR、VRなどの最先端技術を利用するアニラジが増える未来が目の前にある。